

職層研修「係長研修」（第4回）

| | |
|--------|--|
| 【日時】 | 令和3年12月1日（水）、令和4年1月6日（木）、1月26日（水） 9：00～17：00 |
| 【会場】 | 特別区職員研修所、CIVI日本橋研修センター |
| 【受講者数】 | 73名 |
| 【講師】 | 社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 竹内 良 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏 |
| 【研修内容】 | <p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>（1日目）</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>（2・3日目）</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。 |

| | |
|----------------|--|
| <p>【受講生の声】</p> | <p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none">・同和問題について時代背景や世界各国の状況を比較しながらその解決に向けた最新事例を学びました。講師の実体験に基いたお話はどれも説得力があり、興味深かったです。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none">・訴訟は予見できないことですが、自分の主管課に関わる法令について知識を深め、根拠に基づいた職務を意識していきたいと思います。対応する際は複数人で共有し、職場（部署）だけで判断せず、法務に確認しながら対応したいと思います。 <p>【えせ同和行為対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・えせ同和行為を受けた経験はありませんが、不当な要求には恐れずにきちんと組織で対応しなければならないとの思いを強めることができました。 <p>【特別区制度】</p> <ul style="list-style-type: none">・特別区の歴史的な成り立ちや、大都市東京の基礎自治体として事務や財政制度等の運営に特例・特徴があることを学びました。区では普通だと思っていたことが制度上は特別に位置付けられていることが分かり、視野が広がりました。 <p>【係長の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・実践的な部下の育成方法としてMBQの手法が大変参考になりました。メンタルヘルスも具体的な例を用いた説明だったので分かりやすかったです。 |
|----------------|--|